立場茶屋

旅人のための茶店

この築 200 年の茶店は、中山道を旅する旅人のために宿場町と宿場町間の休憩所として建てられていた茶店の典型的なものです。この茶店が位置する一石枋は、かつては木材の出荷を取り締まった番所を含む 7 軒の家からなる集落でした。この茶店にはかつて厩がありましたが、かなり前に朽ち果ててしまいました。この茶屋の左側の平地では、最近まで米が栽培されていました。

この茶屋には土間、囲炉裏を囲む板張りの上段の間と畳の間が 2 部屋あり、この茶屋の奥の畳の間には、掛け軸を掛けたり、書き物机を置いたりできる、床を一段高くした床の間があります。

現在ではこの茶屋は、妻籠を愛する会という妻籠の保存団体が管理しています。是非お茶を飲み立ち寄って、中山道の伝統の存続にご協力ください。また、この茶店の隣に立つねじれた松の木と、道の向こう側にある桜の木をゆっくりとご満喫ください。-----